

授業科目 臨床実習 II (支援機器)

【担当教員名】 東江 由起夫、飯塚 尚		対象学年	3	対象学科	義肢
		開講時期	後期	必修選択	必修
		単位数	5	時間数	225
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	◎	◎	◎	◎	
【一般目標：G10】 将来、義肢装具・福祉用具の専門技能をもって高齢者・障害者の QOL 向上に貢献できる人材となるために、現場における対象者の状況、ニーズ、および求められる専門職としての役割を理解する。					
【行動目標：SBO】 1. 対象者や実習指導者を含めた周囲に対し、専門職を目指す学生として良好な態度と礼節をもって接することができる。 2. 対象者の ADL および QOL 評価を行うことができる。 3. ADL および QOL 評価の結果に基づき、これらの改善が可能な福祉用具の提案を行うことができる。 4. 福祉用具等の使用により対象者の ADL および QOL がどのように変化したか、客観的に評価することができる。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション				学内
2	福祉用具・機器関連施設における臨床的な実習（4週間）				学外（実習指導者）
3	実習セミナー（報告会）				学内
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料		配布資料：臨床実習 II の手引き			
【評価方法】 出席、臨床実習指導者による評価、臨床実習報告書の内容などにより総合評価する。			【履修上の留意点】 身だしなみや言葉遣い、守秘義務に関わる事項など、各留意点の詳細についてはオリエンテーション時に確認を行う。		